



@SEIREIFUJI

こんにちは聖隸ふじ太郎です。
少しずつ風が冷たくなり、秋が深まってきたね。
4月から新人さんが7名入り、半年が経ちます。
そこで今回は新人さんを支える実地指導者さんに会ってきました！
現場ではいったいどのようなことをしているのでしょうか？



実地指導者とは？

新人職員と一対一で指導する先輩
つまり、看護師に必要な様々な技術（採血、日常生活のお世話など）を指導、評価して新人職員の成長を支える役割を担っています。
悩みや困っていることに耳を傾け、心の支えにもなる存在です！

実際の関わりの場面

実施指導者だけでなく、周りの
スタッフの協力が不可欠なのです！

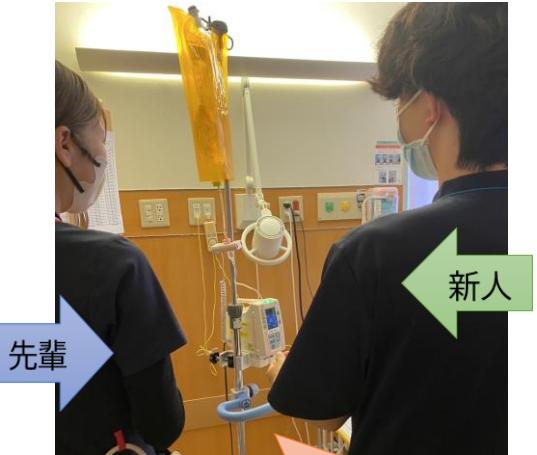


@SEIREIFUJI

各部署の係長や教育担当者と相談しながら、新人のペースに合わせて目標設定・計画を立て、実践・評価をしていきます。
困ったときに相談しやすい環境作りを心がけ、どうやったら問題解決ができるか一緒に考えるようにしています。
1日でも早く現場の即戦力となれるようサポートしていきたいと思います！



経管栄養の準備の指導



輸液ポンプの使用方法の
指導



申し送り方の指導



点滴の滴下数計算の指導

各階の実施指導者からの声

4階病棟
ルート穿刺や検査出しが独り立ちできるようになりました。
日々の業務に慣れ複数人の受け持ちを1人で行えるようになってきました！
新人自らやりたい技術など積極的に声をかけを行っています。

6階病棟
体調管理をして休まず出勤できます。
ルート穿刺、採血など独り立ちした技術が増えてきました。
新人さんとコミュニケーションをとり新人さんが困っていることや、わからぬことをそのままにしないように心がけています！



4~11月でできる技術、業務が増えています！
これからも成長していくために
皆さんご協力をよろしくお願いします！

5階病棟
採血、ルート穿刺、経管栄養など独り立ちできる技術が増えてきました。
先輩と話し合って看護技術など週ごとに目標を決めて取り組んでいます！
その日に困ったことや学習について先輩が積極的に関わり支援する体制を作っています。

透析室
様々な時間帯の業務に慣れてきました。
途中で透析室に異動した新人さんは穿刺の独り立ちを目指して頑張っています！
透析室では学べない技術を病棟へ学びに行く予定です。

